

講演会 冬の使者、白い妖精の生活史について学ぼう
～防風林と雪虫と～

新琴似地区と屯田地区の間には防風林がある。明治期から原野を吹き抜ける風を鎮める境界林として、又、生活の必需品を生み出す生活林として機能していた。そこはまた、石狩低地帯の湿潤な環境の中でヤチダモの木が多いことによって、晩秋に現れる雪虫が生息できる環境となっている。一斉に現れる雪虫は何処から来るのか、ヤチダモにきた雪虫はその後、どうなるのか。

雪虫の綿毛の美しさに惹かれて、幼虫を実験室に移して飼育し、成虫へ成長して行く時の綿毛の発生の様子、綿毛とはどのような構造をしているのか、それは何でできているのか、防風林に舞う雪虫を見続けてきたお話をします。

日 時：2015年4月12日（日） 15：00～16：30

会 場：札幌エルプラザ 2階 環境研修室1・2
(札幌市中央区北8西3 電話011-782-1222)

講 師：山田大邦氏
(元札幌医大医学部物理学講師)

参加費：無料

問合せ：北海道自然観察協議会事務局
池田 電話011-708-6313

主 催：北海道自然観察協議会